

小児脳死下臓器提供における看護ケアに関する研究

研究分担者 日沼 千尋 天使大学 看護栄養学部 教授

研究要旨:平成 30 年度から令和 2 年度の研究において、小児の脳死下臓器移植を実施した施設の医療者が、ドナーとなった「子どもと家族に行ったケア」とその時の「医療者の想い」について、インタビューデータを分析し、令和 4 年度は学会発表と論文投稿した。その中で、脳死下臓器提供をする子どもとその家族に関わる医療者多くは、初めての経験に戸惑うとともに、対象が子どもであることから、医療者、とりわけ看護職自身の精神的負担が大きいことが明らかになった。令和 5 年度以降は、この看護職への教育的な支援ツールや教育プログラムを検討し、看護職の負担や戸惑いを軽減することにより、脳死下臓器提供をする子どもと家族への看護の質の向上を目指す。

A. 研究目的

脳死下臓器提供をする子どもと家族への看護の際に、活用できる教育プログラム及び教材の内容を検討する。

B. 研究方法

①前期の研究分析結果「医療者の想い」について論文投稿準備を進める。

②脳死下臓器提供を実施した施設を対象に看護師の教育ニーズの実態調査を実施する。

調査内容は、小児の脳死下臓器移植を実施する施設の看護師の教育的支援として必要な内容を検討する。

③現在実施されている教育プログラムを調査し、これに関しては、著作権の範囲内で実施し、情報提供者への許可を得て実施する。

（倫理面への配慮）

人を対象とする調査を実施する場合には、所属する大学の倫理委員会に申請し、許可を得て実施する。

C. 研究結果

現在調査準備中

D. 考察

現在調査準備中

E. 結論

現在調査準備中

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表

日沼千尋、荒木尚、種市尋宙、西山和孝:脳死下臓器提供を行う子どもと家族へのケアと支援.Brain Death & Resuscitation,Vol.34 No.2, 82-90,2022.

2. 学会発表

- ・日沼千尋、荒木尚、種市尋宙、西山和孝:脳死下臓器提供を行う子どもと家族へのケアの実際. 日本小児救急医学会雑誌.Vol.21,No.2,P.223 2022.(第35回日本小児救急医学会奨励賞受賞)
- ・日沼千尋、荒木尚、種市尋宙、西山和孝:小児の脳死下臓器提供に関わった医療者の想い. 日本小児救急医学会雑誌.Vol.21,No.2,p.242, 2022.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
特になし

2. 実用新案登録
特になし

3. その他
特になし